事　務　連　絡
令和８年 10 月７日

公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本歯科医師会
公益社団法人日本薬剤師会
一般社団法人日本病院会
公益社団法人全日本病院協会
公益社団法人日本精神科病院協会
一般社団法人日本医療法人協会
一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
一般社団法人日本保険薬局協会
　御中

厚生労働省政策統括官付医療情報基盤担当参事官室

第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの販売開始について（周知依頼）

日頃より、医療保険行政の推進にご協力いただき、厚く御礼を申し上げます。

医療機関・薬局で導入されている顔認証付きカードリーダーにつきましては、現行の顔認証付きカードリーダーの保守期限が令和８年３月末から順次到来することを受け、厚生労働省において、利便性が向上した第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの開発に向けたメーカーを公募し、令和８年度から順次販売を開始しています。

今般、令和８年 10 月１日より、リコージャパン株式会社から第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーが販売を開始いたしました。令和８年４月 22 日より販売されているキヤノンマーケティングジャパン株式会社、令和８年８月 24 日より販売されているパナソニック コネクト株式会社に続き、３機種目となります。また、マイナ保険証の利用環境の維持・利便性向上のため、第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーを導入する医療機関・薬局に対しては、令和７年度補正予算により一部費用の補助事業を実施しています。現行の顔認証付きカードリーダーの保守期限到来後は、メーカーからの故障時の速やかな修理対応や機器交換が受けられない場合があること、また安定運用の観点から、こちらの補助を活用のうえ、積極的に第２世代（次期）顔認証付きカー

ドリーダーの導入をご検討ください。
　つきましては、リコージャパン株式会社の第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの販売等について、その詳細を下記のとおりお示しいたしますので、貴会内での周知にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

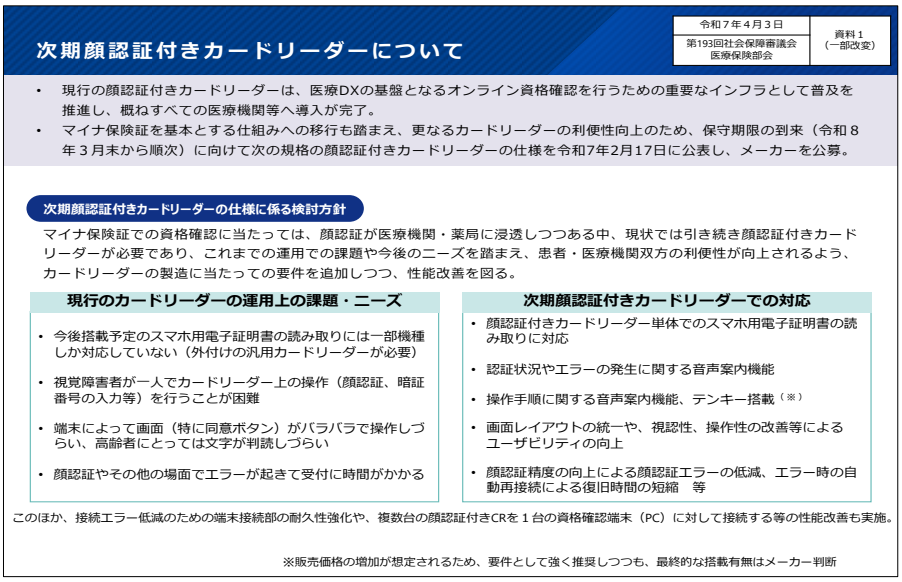
記

１　次期顔認証付きカードリーダーの仕様について（再周知）

　現行機種での課題や今後のニーズを踏まえ、患者と医療機関・薬局の双方の利便性が向上するよう、満たすべき開発要件をお示ししています。現行機種からの主な変更点は下記のとおりです。

（１）顔認証付きカードリーダー単体でスマホ用電子証明書の読み取りに対応
（２）操作手順やエラーの発生に関する音声案内機能を搭載
（３）ユニバーサルデザインに配慮したテンキーの搭載（※１）
（４）画面レイアウトの統一や、視認性・操作性の改善等によるユーザビリティの向上
（５）顔認証精度の向上による顔認証エラーの低減、エラー時の自動再接続による復旧時間の短縮

（※１）販売価格等への影響に鑑み、最終的な搭載有無はメーカーにより異なります。



２　リコージャパン株式会社の第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーについて

今般発売する第２世代顔認証付きカードリーダー（Caora 2）は、現行機種である富士通 Japan 株式会社製顔認証付きカードリーダー（Caora）の後継製品として、「もう迷わない、考える前に手が動く認証体験」をコンセプトに、操作性・視認性の向上を実現しました。なお、令和９年５月には、テンキーでの入力に対応した新モデルの展開を予定しています。詳細は製品ホームページをご確認ください。

（参考）
リコージャパン株式会社
https://www.ricoh.co.jp/products/list/ricoh-online-eligibility-verification-system/caora2



３　ご利用中の顔認証付きカードリーダーの保守期限の確認方法について（再周知）

現在ご利用中の顔認証付きカードリーダーの保守期限の確認方法につきましては、医療機関等向け総合ポータルサイトに掲載しています。顔認証付きカードリーダーメーカーごとに確認方法が異なりますので、詳細は下記ページをご確認ください。

（参考）
【厚生労働省からのお知らせ】現在ご利用中の顔認証付きカードリーダーにおける保守期限の確認方法と第２世代（次期）顔認証付きカードリーダー等に関するご案内
https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0012685

４　補助事業について（再周知）

第２世代（次期）顔認証付きカードリーダー及び資格確認端末の購入につきましては、令和７年度補正予算により一部費用の補助を実施しています。顔認証付きカードリーダーは販売価格（税込、以下同じ。）の１／２（上限額は 12 万１千円）、資格確認端末（資格確認端末のみの購入は補助対象外）は販売価格の１／３（上限額は５万円）を補助することとしています。（※２）
具体的な補助要件や申請方法等につきましては、医療機関等向け総合ポータルサイトおよびオンライン資格確認等コールセンターにてご確認ください。

（※２）資格確認端末を一体化させた顔認証付きカードリーダー（パナソニック コネクト社製）については、販売価格の半額にそれぞれ１／２と１／３を乗じた額の合計額（上限額は 14 万６千円）、外付けテンキーについては販売価格の１/２（上限額は１万１千円）の補助となります。

５　その他

顔認証付きカードリーダーでは、プライバシー保護のため、画面（ディスプレイ）のぞき見の防止対策が講じられております。施設の状況に応じて、顔認証付きカードリーダーの設置場所や後続の患者の待機位置について十分ご配慮いただくなど、操作者以外の方に画面の表示内容が見えることのないよう、適切な配慮をお願いいたします。

（参考）
〇第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの発売開始と補助金のご案内
https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0012771

〇オンライン資格確認等コールセンター
0800-080-4583（通話無料）

第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーについて

令和８年６月18日	資料３ （一部改変）
第212回社会保障審議会 医療保険部会	

- 現行の顔認証付きカードリーダーの保守期限到来に向けて、令和８年度より、第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーが順次販売開始している。
- 第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーを導入する医療機関・薬局に対し、令和７年度補正予算により一部費用の補助を実施。令和８年６月末日より申請受付の開始予定。
  （別売りのテンキーの導入・資格確認端末の入れ替えについても、カードリーダーの導入と同時申請の場合には補助対象）

第２世代（次期）顔認証付きカードリーダーの特徴について

メーカー	キヤノンマーケティングジャパン	パナソニック コネクト	リコージャパン※1
商品イメージ			
発売開始時期	令和８年４月22日	令和８年８月24日	令和８年10月１日
ハード・性能における主な特徴（共通）	• 本体のみでスマートフォンの読取に対応（外付けの汎用カードリーダーが不要） • 操作手順やエラーの発生に関する音声案内機能を搭載 • 顔認証制度の向上による顔認証エラーの低減		
ハード・性能における主な特徴（独自）	• 軽量でコンパクトなサイズ • 取り外し可能による多様な操作性 • テンキー一体化構造により、テンキー操作が可能（外付けのテンキーが不要） • キヤノン社製の現行機（Hi-CARA）と混在の複数台接続が可能	• 資格確認端末を内蔵（Windows PC）※2 • 本体とレセコン間の接続はLAN接続となり設置自由度が向上 • 専用外付けテンキーにより操作が可能※3 • 背面インジケータを搭載し、受付カウンター越しに機器状態をお知らせ	• 操作しやすい７インチディスプレイ搭載 • 現行機（富士通Japan社製Caora）から設置幅を約４センチ縮小 • 操作箇所をお知らせする点滅ランプ搭載 • 現行機（富士通Japan社製Caora）と混在の複数台接続が可能

※1　富士通Japan社製顔認証付きカードリーダー（Caora）の後継機種として発売予定
※2　顔認証付きカードリーダーの設定のために別途、モニター等が必要。
※3　テンキーはオプションでの販売（令和８年10月発売予定）